

平成22年度 札幌市研究開発事業「キャリア教育」に関する実践研究のまとめ
～職場体験を中核としたキャリア教育に係る本校の取組について～

札幌市立北栄中学校

1. 育てようとする資質や能力及び態度

- (1) 「働くことの意義」や「職業に対する適性」について考えた1学年での学習を一步進め、実際の職場を体験することにより、自己の将来に目を向ける。
- (2) 様々な職業の方と接する中で、言葉遣いや社会的常識、礼儀、マナーなどを身につける。
- (3) 事前情報の収集、各職場の訪問計画書づくり、まとめの活動を通して、必要な情報を集め、整理し、人に伝える技術を身につける。

2. 職場体験の内容

(1) 実施学年

第2学年 153名

(2) 実施日時

平成22年11月17日(水) 9:00～15:00

朝は8:35までに登校し、出欠確認後、訪問先ごとに分かれて約束の時間に間に合うように出発する。

(3) 具体的な内容

「総合的な学習の時間」の学習として行う。北栄中学校の校区内の事業所や公共の施設に出向き、職場体験をさせていただく。

- ・事前に体験を希望する職種の調査を行い、体験先ごとにグループを構成する。
- ・グループに分かれて事前調査や計画づくり、事後のまとめを行う。
- ・事後のまとめにはフリップチャート等を活用し、簡単なプレゼンテーションを行う。
- ・訪問先の職種別に担当教師を配置し、事前・事後学習の指導を行う。また、当日の引率や巡回などにあたる。

3. 事前・当日・事後の指導体制

(1) 指導計画

	指 導 内 容	
事前指導	・職業についての意識付け ・職場体験の希望調査 ・計画表づくり	・職場体験の概要説明 ・基本的なマナー指導 ・事後のまとめ指導
当日指導	・各事業所への巡回指導	・出発時と帰着時の点呼指導
事後指導	・職場体験のプレゼン指導	・反省、礼状の作成

(2) 具体的な内容

日 時	時数	内 容
7/22 (木)	1	生き方・進路学習についてのオリエンテーション
9/29 (水)	1	①職業体験先の紹介 ②希望調査
	1	マナーを守るということ
10/14(木)	1	③体験先決定・グループ打ち合わせ
	1	④調べ学習「どんな仕事か」☆視聴覚室、図書室手配・調整
10/15 (金)	1	⑤依頼文・あいさつ原稿作成
10/19 (火)	1	⑥計画表づくり ⑦交通機関確認
10/22 (金)	1	事後まとめ準備①
11/ 2 (火)	1	事後まとめ準備②
11/ 9 (火)	1	事後まとめ準備③
11/10 (水)	1	⑧事前チェック・マナーについて
	1	⑨最終確認(クラス・グループで)
11/16 (火)	1	前日確認
11/17 (水)	6	職 場 体 験 学 習 (当日6時間日程)
11/24 (水)	1	礼状作成、感想文・個人まとめ
11/26 (金)	1	事後まとめ①
11/30 (火)	1	事後まとめ②
12/ 3 (金)	1	事後まとめ③
12/ 8 (水)	1	事後まとめ④ (発表交流会 1)
	1	事後まとめ⑤ (発表交流会 2)

4. 指導方法と指導体制について (評価計画等も含む)

係 名	担当者	業 務 内 容
総 務		<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体計画 ・ 北栄T・学活・道徳の調整と計画 ・ 職場宛の文書作成 ・ 職場の調整と確定 ・ 地域支援コーディネーターとの連携 ・ 当日の生徒の把握 (本部)
生徒活動		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前の体験計画書や生徒向けワークシート等の作成 ・ 当日の記録用紙作成 ・ 事後のまとめ (発表会) の計画・準備
庶 務		<ul style="list-style-type: none"> ・ 各職場への文書発送
各事業の分担		<ul style="list-style-type: none"> ・ 各職場を分担し、職場との連絡、該当生徒の指導、当日の巡回等にあたる。

【評価の観点】

「意欲」

- ・事前の話し合いや当日の活動、事後のまとめの活動に積極的に参加していたか。

「コミュニケーション」

- ・グループ内や事業所の人とのコミュニケーションをしっかりととり、よりよい人間関係を築こうとしていたか。

「情報収集とまとめ」

- ・情報の収集やまとめの活動を通じて、発表や情報を発信する力が身についたか。

「自己の生き方」

- ・働くことの意義や職業の適性について考え、自己の将来について理解を深めることができたか。

5. 成果と課題

(1) 今年度の成果

地域支援コーディネーターとの連携によって、訪問先事業所への依頼をスムーズに行うことができた。体験先での生徒の態度は概ね評価できるものであった。事前指導はもちろんのことだが、日常生活での取り組みの成果が表れていた。

職種が限られたため、「幅広く」という点では不十分さを感じるが、「進路に関する必要な情報を収集・整理する」ことや、「自分の個性や特性を考慮しながら将来について考える」ことについては、成果があったと考えている。

(2) 来年度に向けての課題

生徒の希望に可能な限り応えながら、訪問を受け入れていただける事業所をどのように確保するかが課題である。単年度で終わるのではなく、複数年に渡って受け入れていただくためには、地域の事業所とパイプをつくり、現在行っているボランティア活動など日常的なつながりを大切にしていく必要がある。

また、3年間のキャリア教育の見通しをもち、生徒に対して職場体験での目的をしっかりとらせることが重要である。

※職場体験先事業所については以下にまとめてあります。

	事業所	人数	
①	保育園・幼稚園	44名	東区 7カ所
②	老人福祉施設関係	10名	東区 2カ所
③	ショッピングセンター	18名	東区、北区 各1カ所
④	食品・菓子関係	21名	東区、中央区専門学校 2カ所
⑤	書店	5名	東区ショッピングセンター内1カ所
⑥	美容院	4名	北区 1カ所
⑦	病院・歯科	6名	東区 各1カ所
⑧	官公庁	16名	東区 消防署2カ所 郵便局1カ所
⑨	ラジオ局	5名	東区 FMラジオ 1カ所
⑩	スポーツ施設	4名	中央区 1カ所
⑪	大学	12名	手稲区 1カ所
⑫	自衛隊	3名	東区 1カ所
⑬	自動車販売	5名	東区 1カ所